



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月8日

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7722 URL <http://www.kokusaikk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 進一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本 博司 (TEL) 042-371-4211  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月9日 配当支払開始予定日 2021年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	5,699	△0.1	391	71.8	426	91.8	259	101.0
2021年3月期第2四半期	5,706	0.7	227	△51.8	222	△47.8	128	△51.2

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 381百万円( 80.9%) 2021年3月期第2四半期 210百万円( 316.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	18.52	—
2021年3月期第2四半期	9.18	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	18,634	11,138	58.9
2021年3月期	18,690	11,125	58.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 10,982百万円 2021年3月期 10,975百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	15.00	—	10.00	25.00
2022年3月期	—	10.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	△0.0	700	70.0	700	23.3	420	133.6	29.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	14,200,000株	2021年3月期	14,200,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	451,649株	2021年3月期	121,649株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	13,997,203株	2021年3月期2Q	14,036,708株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
3. 補足情報	14
生産、受注及び販売の状況	14

※ 当社は、以下のとおり説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・2021年12月8日（水）……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、前連結会計年度から続く新型コロナウイルス感染症の世界的拡大と、米中貿易摩擦の長期化や、中東や朝鮮半島における地政学的リスクの高まりなど世界経済の不確実性の影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。

また、日本経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、企業の設備投資も弱含んだ状況が続いております。なお、当社グループが主力取引先としている中国及び東南アジアの自動車及びタイヤ業界の設備投資については、当第2四半期連結累計期間において、軟調に推移しておりますが、当社の主力顧客である中国企業の欧州や東南アジア等への海外進出が続いているものの、大型の設備投資については慎重に検討されております。

また、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、CASEやカーボンニュートラルなどの世界的潮流への対応に注力するなか、ハイブリッド車などの低燃費エンジンや電気自動車等の環境や省エネに配慮した自動車部品に対する製造・研究開発分野への投資が続いておりますが、半導体供給不足による減産や各種素材の価格高騰などの懸念材料もあるため、設備投資については慎重に検討されております。

このような経営環境の中で当社グループは、お客様やグループ間でオンライン会議を活用しながら、生産ライン用の試験装置であるバランスングマシンとともに、研究開発用でありイニシャルコストとランニングコストの低減が見込める電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を、国内及びアジアを中心に積極的に展開しております。この結果、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカー向けの生産ライン用タイヤ関連試験機や国内の自動車部品メーカー向けの電気サーボモータ式振動試験機等の受注を獲得いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高56億9千9百万円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益3億9千1百万円（前年同四半期比71.8%増）、経常利益4億2千6百万円（前年同四半期比91.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億5千9百万円（前年同四半期比101.0%増）となりました。

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う客先との納期調整や海上輸送船舶及びコンテナ不足に伴う輸出待ちは継続しており、アジアのタイヤメーカーを中心としたバランスングマシンの売上が増加したものの、国内向けのバランスングマシンの売上が減少したため、前年同四半期と比較して減少しております。利益面につきましては、利益率の改善により、前年同四半期と比較して増加しております。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

[日本 (国際計測器株式会社) ]

主に国内向けバランスングマシンの出荷・検収が減少したものの、海外向けバランスングマシンの出荷・検収が増加したため、全体として出荷・検収は増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	50億4千4百万円 (前年同四半期比14.8%増)
経常利益	6億5千6百万円 (前年同四半期比157.9%増)

[日本 (東伸工業株式会社) ]

電力業界からのクリープ試験装置や腐食環境試験装置などの受注が増加したものの、材料試験機の出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	1億7百万円 (前年同四半期比4.8%減)
経常損失	2千1百万円 (前年同四半期は1千4百万円の損失)

[米国]

日系の大手自動車関連メーカーへの電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が減少し、米国の自動車部品メーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	1億9千9百万円 (前年同四半期比57.1%減)
経常損失	5千7百万円 (前年同四半期は3千5百万円の損失)

[韓国]

韓国大手自動車関連メーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が減少し、電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常利益は前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	7億9千2百万円 (前年同四半期比13.2%減)
経常利益	7千2百万円 (前年同四半期比39.7%減)

[中国]

中国国内のタイヤメーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が増加したものの、自動車部品メーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失となりました。

売上高	2億6千万円 (前年同四半期比12.8%減)
経常損失	1千4百万円 (前年同四半期は3百万円の利益)

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産の部)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、186億3千4百万円（前連結会計年度末比5千6百万円減）となりました。これは、現金及び預金が増加（前連結会計年度末比6億3千6百万円増）したことや株価の上昇により投資有価証券が増加（前連結会計年度末比1億5千3百万円増）したこと及び第3四半期以降に出荷予定の仕掛案件の進捗により仕掛品が増加（前連結会計年度末比8千3百万円増）したものの、海外物件の出荷に伴い商品及び製品が減少（前連結会計年度末比3億1千4百万円減）したことや、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比5億9千3百万円減）したことが主たる要因であります。

### (負債の部)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、74億9千5百万円（前連結会計年度末比6千9百万円減）となりました。これは、課税所得の増加により未払法人税等が増加（前連結会計年度末比1億1千2百万円増）したことや、運転資金拡充のため借入を実行したことにより短期借入金が増加（前連結会計年度末比3億6千万円増）したこと及び1年内返済予定の長期借入金が増加（前連結会計年度末比1億1千3百万円増）したものの、受注の減少により支払手形及び買掛金が減少（前連結会計年度末比5億2千9百万円減）したことや前受金が減少（前連結会計年度末比1億4千万円減）したことが主たる要因であります。

### (純資産の部)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、111億3千8百万円（前連結会計年度末比1千2百万円増）となりました。これは、自己株式の取得により自己株式が増加（前連結会計年度末比2億2千7百万円減）したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどにより利益剰余金が増加（前連結会計年度末比1億1千8百万円増）したことや、その他有価証券評価差額金が増加（前連結会計年度末比1億6百万円増）したこと及び為替換算調整勘定が増加（前連結会計年度末比9百万円増）したことが主たる要因であります。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動により6億2千3百万円増加し、投資活動により8千1百万円増加し、財務活動により1億2千2百万円増加した結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ8億7千6百万円増加し、44億4千5百万円となりました。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、6億2千3百万円の収入（前年同四半期比2億7千万円の収入増加）となりました。これは、仕入債務が5億2千9百万円減少したものの、税金等調整前四半期純利益を4億2千6百万円計上したことや売上債権の回収により売上債権が6億1千2百万円減少したことなどによるものであります。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、8千1百万円の収入（前年同四半期は3億7百万円の支出）となりました。これは、資金運用のために定期預金の預入による支出が3億9千3百万円あったことや、保険積立金の積立による支出が1千9百万円あったものの、定期預金の満期が到来したことにより定期預金の払戻による収入が4億8千9百万円あったことなどによるものであります。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、1億2千2百万円の収入（前年同四半期は4億2百万円の支出）となりました。これは、長期借入金の返済による2億1千9百万円の支出があったことや配当金を1億4千万円支払ったこと及び自己株式の取得による2億2千7百万円の支出があったものの、長期借入れによる収入が3億5千万円あったことや短期借入金純額が3億6千万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、第3四半期以降の業績については計画通りに推移すると見込まれており、2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想に変更はありません。

当社グループとしては、新型コロナウイルス感染症の収束時期を正確に予測することは困難な状況にありますが、我が国を含む海外諸国の多くで経済活動再開のためにワクチンの接種が進んでいることから、当連結会計年度中には人の移動制限が大幅に緩和されるものと想定しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,914,142	6,550,970
受取手形及び売掛金	2,678,681	2,085,217
商品及び製品	638,545	323,650
仕掛品	3,146,112	3,229,872
原材料及び貯蔵品	546,048	574,189
その他	487,140	378,718
貸倒引当金	△3,073	△3,727
流動資産合計	13,407,598	13,138,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,087,669	3,087,094
機械装置及び運搬具	221,062	221,732
土地	1,304,251	1,302,948
リース資産	3,036	3,036
その他	297,007	300,282
減価償却累計額	△1,811,620	△1,876,944
有形固定資産合計	3,101,406	3,038,149
無形固定資産		
その他	68,405	64,813
無形固定資産合計	68,405	64,813
投資その他の資産		
投資有価証券	467,122	620,574
長期貸付金	8,227	7,223
繰延税金資産	18,033	14,143
保険積立金	1,292,497	1,303,165
その他	478,712	610,040
貸倒引当金	△151,144	△162,860
投資その他の資産合計	2,113,450	2,392,287
固定資産合計	5,283,261	5,495,250
資産合計	18,690,860	18,634,142

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,405,971	1,876,880
短期借入金	1,320,000	1,680,000
1年内返済予定の長期借入金	370,996	484,188
未払法人税等	140,987	253,210
賞与引当金	88,783	116,250
製品保証引当金	110,686	109,058
前受金	1,463,329	1,322,717
その他	342,902	301,271
流動負債合計	6,243,657	6,143,578
固定負債		
長期借入金	789,074	806,104
繰延税金負債	144,805	142,728
役員退職慰労引当金	158,616	163,056
退職給付に係る負債	211,646	222,632
資産除去債務	17,676	17,818
固定負債合計	1,321,817	1,352,338
負債合計	7,565,474	7,495,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	8,839,976	8,958,447
自己株式	△99,523	△327,223
株主資本合計	10,699,952	10,590,723
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	284,905	391,329
為替換算調整勘定	△9,113	324
その他の包括利益累計額合計	275,792	391,653
非支配株主持分	149,640	155,847
純資産合計	11,125,385	11,138,224
負債純資産合計	18,690,860	18,634,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	5,706,557	5,699,034
売上原価	3,883,756	3,756,218
売上総利益	1,822,800	1,942,816
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	58,736	72,301
貸倒引当金繰入額	—	12,386
役員報酬	203,935	195,051
給料手当及び賞与	391,379	389,514
賞与引当金繰入額	30,436	47,413
退職給付費用	12,813	13,633
役員退職慰労引当金繰入額	4,240	4,440
運賃	152,560	204,776
減価償却費	16,088	15,313
研究開発費	16,964	23,854
その他	707,984	573,035
販売費及び一般管理費合計	1,595,139	1,551,722
営業利益	227,660	391,093
営業外収益		
受取利息及び配当金	26,594	15,225
為替差益	—	24,661
貸倒引当金戻入額	703	—
関係会社株式売却益	16,644	—
その他	9,118	5,599
営業外収益合計	53,061	45,486
営業外費用		
支払利息	3,879	6,108
売上債権売却損	387	486
支払手数料	16,112	2,825
為替差損	37,252	—
保険解約損	453	491
その他	162	0
営業外費用合計	58,248	9,911
経常利益	222,473	426,668
税金等調整前四半期純利益	222,473	426,668
法人税、住民税及び事業税	61,425	206,979
法人税等調整額	26,597	△45,443
法人税等合計	88,022	161,535
四半期純利益	134,450	265,132
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,496	5,878
親会社株主に帰属する四半期純利益	128,953	259,254

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	134,450	265,132
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61,034	106,423
為替換算調整勘定	15,284	9,766
その他の包括利益合計	76,319	116,190
四半期包括利益	210,770	381,322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	210,744	375,116
非支配株主に係る四半期包括利益	25	6,206

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	222,473	426,668
減価償却費	66,364	70,260
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△728	12,342
賞与引当金の増減額 (△は減少)	948	27,602
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	7,776	△1,851
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3,568	11,091
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,240	4,440
受取利息及び受取配当金	△26,594	△15,225
支払利息	3,879	6,108
関係会社株式売却損益 (△は益)	△16,644	—
為替差損益 (△は益)	7,609	△8,855
売上債権の増減額 (△は増加)	707,015	612,002
棚卸資産の増減額 (△は増加)	46,193	195,762
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13,028	△529,728
前受金の増減額 (△は減少)	△148,715	△141,832
その他	△106,161	56,903
小計	751,059	725,686
利息及び配当金の受取額	21,857	10,737
利息の支払額	△4,032	△6,483
法人税等の支払額	△415,794	△106,437
営業活動によるキャッシュ・フロー	353,089	623,503
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△413,987	△393,873
定期預金の払戻による収入	390,401	489,607
有形固定資産の取得による支出	△288,435	△4,306
関係会社株式の売却による収入	13,724	—
保険積立金の積立による支出	△22,664	△19,168
保険積立金の解約による収入	5,877	8,091
その他	7,575	992
投資活動によるキャッシュ・フロー	△307,509	81,341
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10,000	360,000
長期借入れによる収入	—	350,000
長期借入金の返済による支出	△112,742	△219,778
自己株式の取得による支出	△23	△227,700
配当金の支払額	△279,861	△140,506
財務活動によるキャッシュ・フロー	△402,626	122,015
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,170	49,498
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△369,217	876,358
現金及び現金同等物の期首残高	3,345,549	3,569,465
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,976,332	4,445,824

#### (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年8月16日開催の取締役会決議に基づき、自己株式330,000株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が227,700千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が327,223千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

これによる当社及び連結子会社の収益を認識する方法に変更はなく、国内販売においては主に顧客により製品が検収された時に、輸出販売においては主にインコタームズ等で定められた貿易条件に基づきリスク負担が顧客に移転した時に収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	4,250,675	106,279	465,455	614,462	247,683	5,684,557	21,999	5,706,557
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	142,910	6,300	—	298,028	51,054	498,293	40,939	539,232
計	4,393,586	112,579	465,455	912,490	298,737	6,182,850	62,939	6,245,790
セグメント利益 又は損失(△)	254,476	△14,265	△35,398	120,258	3,589	328,659	14,221	342,881

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	328,659
「その他」の区分の利益	14,221
セグメント間取引消去等(注)	△120,407
四半期連結損益計算書の経常利益	222,473

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が151,530千円含まれております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
バランスングマシン	3,890,251	—	33,979	333,951	129,229	4,387,411	5,768	4,393,179
電気サーボモータ式振動試験機	386,630	—	53,828	98,905	—	539,364	—	539,364
材料試験機	—	94,628	—	—	—	94,628	—	94,628
シャフト歪自動矯正機	70,349	—	—	45,162	11,789	127,300	—	127,300
その他	353,322	—	97,529	41,535	35,932	528,320	16,240	544,561
顧客との契約から生じる収益	4,700,553	94,628	185,337	519,554	176,951	5,677,025	22,008	5,699,034
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,700,553	94,628	185,337	519,554	176,951	5,677,025	22,008	5,699,034
セグメント間の内部売上高又は振替高	344,211	12,600	14,138	272,749	83,444	727,143	62,029	789,172
計	5,044,764	107,228	199,475	792,303	260,396	6,404,168	84,037	6,488,206
セグメント利益又は損失(△)	656,344	△21,042	△57,879	72,516	△14,683	635,254	25,280	660,534

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	635,254
「その他」の区分の利益	25,280
セグメント間取引消去等(注)	△233,866
四半期連結損益計算書の経常利益	426,668

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が166,511千円含まれております。

## 3. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

区 分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	4,393,179	+9.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	539,364	△37.0	日本(国際), 韓国
シャフト歪自動矯正機	127,301	△52.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	94,628	△11.0	日本(東伸)
その他	544,561	+20.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	5,699,033	△0.1	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

## (2) 受注状況

## ①受注高

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

区 分	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	2,251,889	△36.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	627,332	+3.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	208,083	+141.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	270,526	+126.2	日本(東伸)
その他	597,531	+43.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	3,955,363	△16.6	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

## ②受注残高

当第2四半期連結累計期間末(2021年9月30日)

区 分	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	4,916,694	△29.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	2,463,536	△8.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	339,619	△14.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	222,239	+80.1	日本(東伸)
その他	70,294	+3.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	8,012,384	△21.5	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

## (3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

区 分	売上高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	4,393,179	+9.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	539,364	△37.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	127,300	△52.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	94,628	△11.0	日本(東伸)
その他	544,561	+20.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	5,699,034	△0.1	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。